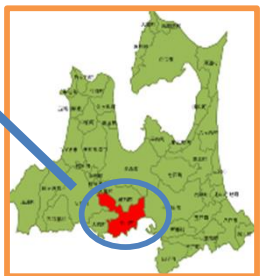


強い農業づくり総合支援事業の取組事例(平成27年度:事業実施主体:津軽みらい農業協同組合)(青森県)

取組の概要

- 対象作目 : 水稻種子(受益面積148ha)
大豆種子(受益面積35ha)
- 成果目標1 : 水稻種子・大豆種子の合格率100%
基準(H25年度)100%
目標(H30年度)100%
- 成果目標2 : 水稻種子・大豆種子の生産者を10名増加
基準(H25年度)252名
目標(H30年度)262名
- 導入施設等 : 乾燥調製施設(種子センター)

青森県平川市平賀地域



津軽平野の豊かな大地を活かして、米やりんご、桃、高冷地野菜などの栽培が盛ん

推進体制

- ・中南地域県民局(県)
- ・平川市

- 事業実施主体
- ・取組計画の作成
 - ・取組実施等

指導・助言

地域における独自の取組

栽培講習会の開催により、巡回による「ばか苗病」の抜き取りなどの管理を徹底し、高い合格率を維持。

ポイント

【取組の主題及び課題】

平賀地域では、昭和43年の「平賀水稻採種組合」発足を機に、長年にわたり青森県の寒冷地稲作の基本となる優良種子の生産・提供を続けており、現在は、県全体の約4割の水稻種子を生産している。また、大豆については、国の自給率向上対策に則り、作付けを拡大し、青森県内に広く供給してきた。

しかしながら、水稻種子では、乾燥調製施設の荷受、乾燥能力の不足により適期収穫に支障をきたし品質低下を招いていることや異品種の混入リスク、大豆では、選別のほとんどを手作業で行っているため、多大な人件費と作業時間を要することが課題となっていた。

【産地としての持続性を確保し、収益力を向上するための方策】

- ①水稻種子の品質向上を図るための乾燥調製施設の整備
- ②人件費の削減と高品位大豆種子の安定供給を図るための高性能大豆選別機の導入

取組成果

【事業実施による直接効果】

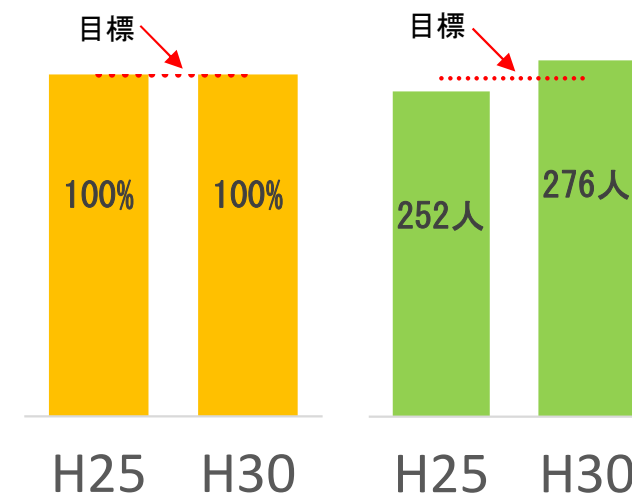
- ①種子合格率高水準で維持
- ②高品位大豆種子の安定供給

【事業実施による間接効果】

- ①計画的かつ効率的な収穫作業が可能
- ②手作業による多大な労働力と人件費の大幅な削減

種子の合格率
達成率 100%

生産者の増加
達成率 240%



優良種子の安定
生産体制を確保